

リニアは夢の乗り物か？

ストップリニアニュース No.32

発行：2016.6.5 リニア新幹線を考える相模原連絡会 <http://sagamihara-g.mond.jp/>

リニア取り消し求め738人が提訴

5月20日、国土交通大臣によるリニア新幹線工事計画認可の取り消しを求めて「ストップ・リニア！訴訟」を「リニア新幹線沿線住民ネットワーク」の仲間と一緒に、全国の原告738人が東京地方裁判所に提訴しました。（相模原市内の原告は113人）

■ リニア提訴、記者会見

●13時からの提訴に先立つ裁判所前での「アピール行動」では、相模原から参加の8人は相模原連絡会の横断幕を持って、地下鉄霞が関駅から、東京地方裁判所正門まで行進。

●13時半に代表が提訴。

●14時から原告団・弁護団が司法記者クラブで記者会見、「リニア相模原連絡会」の浅賀きみ江代表も参加しました。



リニア提訴をアピールする相模原連絡会のメンバー

■ 訴訟スタート院内集会

●15時から「訴訟スタート院内集会」（参議院議員会館）が行われ、67人（相模原から7人）が参加。受付では「訴状」（全文108頁）が配布されました。

原告団長の川村晃生さんは「15年12月に「工事承認処分の取り消しを求める異議申し立て」を国交大臣宛に行ったが、国交省からは審査の報告がない状態が続いている。このままではJR東海が工事を進めてしまう危機感から、訴訟に踏み切った」とあいさつ。集会参加の7人の弁護団が自己紹介。訴訟事務局メンバーの紹介もされました。



会見する原告・弁護団＝司法記者クラブ
(FNN ニュース フジテレビより 5/20)

このままではJR東海が工事を進めてしまう危機感から、訴訟に踏み切った」とあいさつ。集会参加の7人の弁護団が自己紹介。訴訟事務局メンバーの紹介もされました。

弁護団共同代表の関島保雄弁護士は「リニアは86%がトンネル構造。熊本地震のような直下型の地震が発生した場合の乗客の安全確保、残土処理・地下水など自然環境への影響、騒音・振動・磁界など健康被害なども問題」と訴状の内容について説明しました。

橋山禮治郎さんは「この事業は失敗必至」、JR東海労組代表は「当初からリニア反対。原告団副団長の原重雄さんは労組のOB」と紹介。外環ネット代表は、大深度地下トンネル工事の危険性を指摘。登山者からは「7月にリニア反対集会を予定」などの発言がありました。相模原は鳥屋地区の車両基地建設で自然とくらし破壊の危機が一目でわかる「車両基地の鳥瞰図」を回覧しました。

「訴状」の お届けについて

「訴状」（A4版108頁）を後日、原告の皆さんには、無料で手渡し・郵送でお届けします。なお、原告以外で「訴状」（有料）を希望される方は、相模原連絡会の事務局メンバーにご連絡下さい。

<連絡先> ☎&📠 : 042-782-7123 (建部)

メール: [建部由美子<yumiko_tatebe@tbb.t-com.ne.jp>](mailto:yumiko_tatebe@tbb.t-com.ne.jp)

リニア提訴、相模原市で原告が記者会見

リニア中央新幹線の工事認可取り消しを求める裁判の原告は神奈川県内で211人。相模原市内の原告113人のうち、「リニア新幹線を考える相模原連絡会」メンバーの原告5人が訴訟を支える弁護団の足立悠弁護士とともに市役所で記者会見しました。（5月20日）

◆ 県民の水源破壊の恐れ

原告は、緑区内でリニア新幹線が神奈川県の水源地をトンネルで通過するため、水源枯渇など影響を与える恐れがあり、山梨実験線では深刻な影響が出ていること。

◆ 残土処理の目途なし

緑区内でリニアトンネル掘削から出る、1,000万トン余の残土処理先の目途がほとんどなく大きな環境破壊につながることを。

◆ 市民犠牲のリニア開発

鳥屋車両基地の予定地域の生活と環境破壊、相原高校移転で緑が失われ、市民犠牲の駅前開発を進めようとしていることなど、リニア訴訟の理由を説明しました。

● リニア裁判で広く世論に訴え、運動を拡大する

リニアは人格権を否定するような鉄道。裁判を通じて、環境や人間と共生できない乗り物であるとの世論をひろめ、運動を拡大したいと訴えました。



会見する相模原市の原告ら＝相模原市で
(写真：5.21 東京新聞 TOKYO web より)

～各紙の報道～

● 神奈川新聞 5.21

リニア中止求め提訴「安全に問題、自然破壊」沿線住民ら738人
トンネル周辺 相模原酒造「生命線」地下水に懸念

◆ (地域) 相模原・県央 5.21

リニア中止訴訟「人格権否定の鉄道許さない」原告団相模原でも会見

● 朝日新聞 5.21

リニア計画中止求め提訴、沿線住民「安全に重大な問題」

● 毎日新聞 5.21

リニア沿線住民738人、認可取り消し求め提訴

● 読売新聞(川崎版) 5.21

リニア中止求め提訴 県内211人ら

■ 朝日新聞 5.23

社説「納得えるまで対話を」

■ 神奈川新聞 5.31

社説「問題を考え直す機会に」



★ 活動はみなさまのカンパで維持しています、ぜひご協力をお願いします。
郵便振替口座:00240-7-71305 口座名:リニア新幹線を考える相模原連絡会